テーマレバレッジ
ゲーム＆ｅスポーツ２倍

運用報告書（全体版）
第２期
（決算日　2023年３月28日）
（作成対象期間　2022年３月29日～2023年３月28日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の「ゲーム＆ｅスポーツ」関連株式に実質的に信託財産の純資産総額の２倍相当額を投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2021年５月19日～2026年３月27日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本を含む世界の株式の値動きを享受する債券（円建）
株式組入制限	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

◇TUZ03454202303２８◇
<3454>

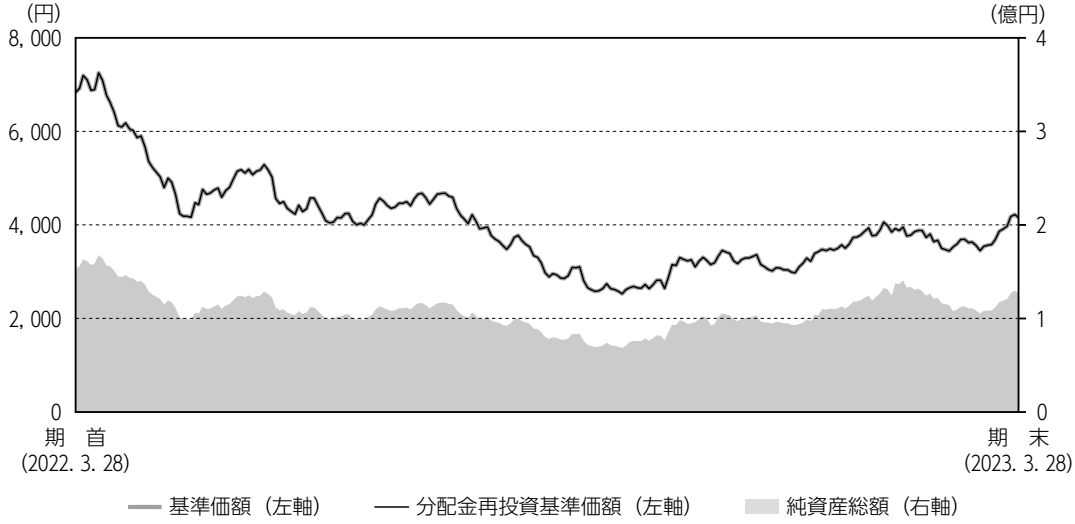
設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込分配金	期中騰落率		
	円	円	%	%	百万円
1期末（2022年3月28日）	6,832	0	△ 31.7	87.0	153
2期末（2023年3月28日）	4,158	0	△ 39.1	87.2	127

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注3）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期　首：6,832円
期　末：4,158円（分配金０円）
騰落率：△39.1%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

連動債券への投資を通じて、日本を含む世界の「ゲームおよびｅスポーツ」関連株式に信託財産の純資産総額の２倍相当額を投資した結果、物価上昇懸念から世界的に金利が上昇する中、成長性の高いテクノロジー企業の株価が大きく調整したため、基準価額は下落しました。

テーマレバレッジ ゲーム＆ｅスポーツ２倍

年 月 日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
（期 首）2022年３月28日	6,832	—	87.0
３月末	7,104	4.0	86.6
４月末	4,801	△ 29.7	85.3
５月末	5,146	△ 24.7	89.2
６月末	4,246	△ 37.9	85.0
７月末	4,467	△ 34.6	89.0
８月末	3,937	△ 42.4	85.9
９月末	2,865	△ 58.1	84.9
10月末	2,654	△ 61.2	84.2
11月末	3,192	△ 53.3	89.3
12月末	3,104	△ 54.6	89.1
2023年１月末	3,770	△ 44.8	89.9
２月末	3,476	△ 49.1	89.3
（期 末）2023年３月28日	4,158	△ 39.1	87.2

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2022. 3. 29 ～ 2023. 3. 28）

■世界株式市況

世界株式市況は下落しました。

世界株式市況は、当作成期首より、米国におけるインフレ率の予想以上の上昇を受けてＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が利上げを加速するとの思惑が強まったことなどから、下落しました。2022年６月半ばにＦＲＢが利上げ幅の拡大を決定した後は悪材料出尽くし観測から上昇に転じ、またインフレ率がピークアウトするとの期待感などもあり、８月中旬にかけて上昇が続きました。その後は、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しＦＲＢの利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、２月以降は、堅調な米国雇用統計を受けて米国の金融引き締め長期化への警戒感が高まったことや、米国政府による中国の偵察気球の撃墜などを背景に米中関係の悪化が懸念されたことなどが嫌気され、当作成期末にかけて下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

連動債券への投資を通じて、日本を含む世界の株式の中から「ゲームおよびｅスポーツ」関連株式に信託財産の純資産総額の２倍相当額の投資を行います。「ゲームおよびｅスポーツ」テーマに関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

ポートフォリオについて （2022. 3. 29 ～ 2023. 3. 28）

連動債券への投資を通じて、日本を含む世界の株式の中から「ゲームおよびｅスポーツ」関連株式に信託財産の純資産総額の２倍相当額の投資を行いました。「ゲームおよびｅスポーツ」テーマに関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。

（ご参考）実質組入上位銘柄

銘　柄　名	通　貨	比　率（%）
NVIDIA Corp	アメリカ・ドル	18. 1
Advanced Micro Devices Inc	アメリカ・ドル	14. 7
Tencent Holdings Ltd	香港・ドル	11. 8
37 Interactive Entertainment Network Technology Group Co Ltd	中国・人民元	10. 6
Nintendo Co Ltd	日本・円	8. 5
Kingsoft Corp Ltd	香港・ドル	8. 4
Electronic Arts Inc	アメリカ・ドル	8. 3
Keywords Studios PLC	イギリス・ポンド	7. 8
ROBLOX Corp	アメリカ・ドル	7. 2
NetEase Inc	香港・ドル	7. 2

（注）比率は2023年３月28日現在の純資産総額に対するものです。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目			当期 2022年３月29日 ～2023年３月28日
当期分配金（税込み）		**（円）**	**―**
	対基準価額比率	（%）	―
	当期の収益	（円）	―
	当期の収益以外	（円）	―
翌期繰越分配対象額		（円）	0

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

今後の運用方針

連動債券への投資を通じて、日本を含む世界の株式の中から「ゲームおよびｅスポーツ」関連株式に信託財産の純資産総額の２倍相当額の投資を行います。「ゲームおよびｅスポーツ」テーマに関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

１万口当りの費用の明細

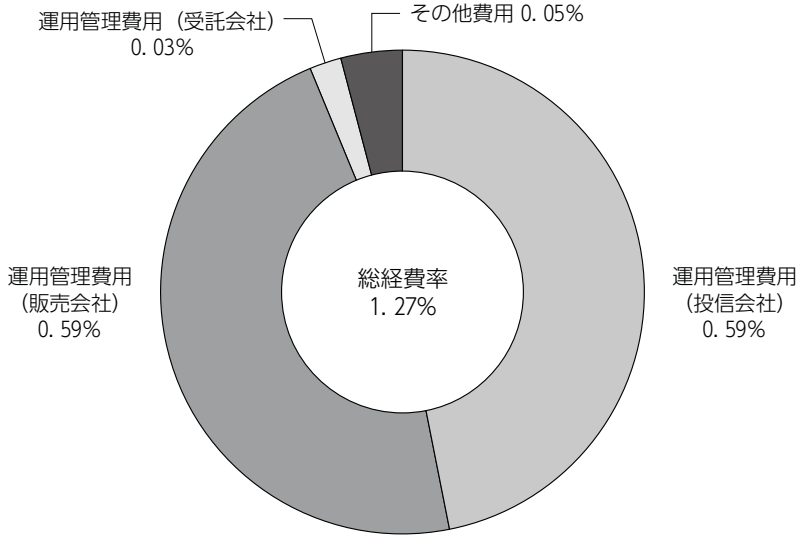
項　　目	当　期 (2022. 3. 29～2023. 3. 28)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	49円	1. 215%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は4, 001円です。**
（投信会社）	(24)	(0. 594)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(24)	(0. 594)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0. 052	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0. 044)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0. 008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	51	1. 267	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1. 27%です。



（注１）１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

＊当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。
純資産総額に対して年率0. 19%（税込）程度、その他各種費用等

■売買および取引の状況

公　社　債

（2022年３月29日から2023年３月28日まで）

		買　付　額	売　付　額
		千円	千円
国内	社　債　券	59,378	23,001 (　　—)

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（　）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
（注４）単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公　社　債

（2022年３月29日から2023年３月28日まで）

当　期			
買　付		売　付	
銘　柄	金　額	銘　柄	金　額
	千円		千円
Vault Investments PLC　2026/3/10（ユーロ円債）	59,378	Vault Investments PLC　2026/3/10（ユーロ円債）	23,001

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	当作成期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

（注１）金額は元本ベース。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当　期　末						
区　分	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券	325,000	111,384	87.2	—	—	87.2	—

（注１）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注２）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注３）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区分	銘柄	当期末 年利率	当期末 額面金額	当期末 評価額	当期末 償還年月日
		%	千円	千円	
普通社債券	Vault Investments PLC	—	325,000	111,384	2026/03/10

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年３月28日現在

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
公社債	111,384	85.8
コール・ローン等、その他	18,432	14.2
投資信託財産総額	129,816	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年３月28日現在

項目		当期末
(A)資産		**129,816,216円**
コール・ローン等		18,432,216
公社債（評価額）		111,384,000
(B)負債		**2,039,208**
未払解約金		1,424,275
未払信託報酬		610,877
その他未払費用		4,056
(C)純資産総額（A－B）		**127,777,008**
元本		307,317,902
次期繰越損益金	△	179,540,894
(D)受益権総口数		**307,317,902口**
１万口当り基準価額（C／D）		**4,158円**

＊期首における元本額は224,537,438円、当作成期間中における追加設定元本額は229,218,125円、同解約元本額は146,437,661円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は4,158円です。
＊当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は179,540,894円です。

■損益の状況

当期　自2022年３月29日　至2023年３月28日

項目		当期
(A)配当等収益		**141,341円**
その他収益金		145,956
支払利息	△	4,615
(B)有価証券売買損益	△	**29,734,617**
売買益		35,537,253
売買損	△	65,271,870
(C)信託報酬等	△	**1,365,755**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	△	**30,959,031**
(E)前期繰越損益金	△	**52,271,054**
(F)追加信託差損益金	△	**96,310,809**
（配当等相当額）	(	1,298)
（売買損益相当額）	(△	96,312,107)
(G)合計（D＋E＋F）	△	**179,540,894**
次期繰越損益金（G）	△	**179,540,894**
追加信託差損益金	△	96,310,809
（配当等相当額）	(	1,298)
（売買損益相当額）	(△	96,312,107)
繰越損益金	△	83,230,085

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,298
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,298
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	1,298
(h) 受益権総口数	307,317,902口